

がんになっても
自分らしく
生きる。



気になっていること何ですか?

あなたが大切にしていることは
何ですか?

Story of my life ...

「何をしてもらいたい?」

「何がしたい?」

「痛みをとりたい」

「話を聞いてほしい」

「家族と一緒にいたい」

「外の景色がみたい」

「家に帰って過ごしたい」

はじめに

多くの方が誤解をされていますが、
緩和ケア病棟は
最期を迎えるためだけの場所ではありません。

私たちは患者さんが
自分らしく生きられるように
様々にお手伝いをさせていただきます。

患者さんのために (For the patient) という
気持ちをもって「ナラティブ」と「チーム医療」
を大切に考えています。

ナラティブ (narrative) とは聞き慣れない言葉ですが、直訳
すると語ること・物語という意味です。

同じ物語を意味する単語にストーリー (story) がありま
すが、少しニュアンスが違います。

ストーリーは筋書きのある物語ですが、
ナラティブには決まった結末はありません。

あなたの考えや行動次第で物語が変化し続けます。

当院の緩和ケアにおけるナラティブとは、患者さんが主体と
なって、その思いを医療者が尊重し、共有しながら一緒に治
療方針や過ごし方を決めていきます。

一度きりの大切な人生です。

あなた自身が納得できる治療法やケア、そして人生について
意思表示をしませんか? がんになっても自分らしくいること
が大切なのです。

緩和ケアとは何ですか？

緩和ケアとは、がん治療に伴う身体の苦痛だけでなく、患者さんやご家族の精神的・経済的苦痛を和らげる医療・ケアのことです。緩和ケアはがんと診断された時から始まります。がんによる痛み・不安・不快な症状を和らげ、患者さんやその家族がその人らしく穏やかに過ごしていただけるよう支援します。

体が痛い



身体的苦痛

いろいろ不安...



精神的苦痛

治療費は？
生活は？



社会的苦痛

何のために
生きているの？



スピリチュアルペイン

様々な苦痛が和らぐように切れ目のない支援をします



誤解をされがちですが、緩和ケア病棟は安楽に最後を迎えるためだけのところではありません。

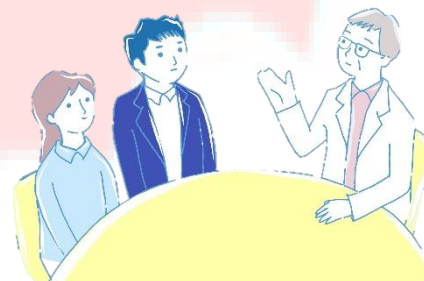
私たちの目的は患者さんの
生活の質（QOL）の改善、向上です。

患者さんやご家族の様々な問題が解決できれば、在宅生活に戻っていただくことを目標としています。
調子が悪い時やご家族が疲れた時には、また入院していただくことも可能です。（レスパイト入院）

緩和ケア病棟は患者さんご家族を 切れ目なく支えます

がんと診断された時から、治療方針やケア、過ごし方を考えておくことをお勧めします。そして、それらを医療者と共有してください。思いが叶うよう最善の方法を一緒に考えていきましょう。

外来 【緩和ケア内科外来】



外来で患者さんやご家族の様々な辛さをお聞きし、がんの治療を行いながら辛さを和らげるケアをします。がんを患うと、痛みやむくみ、吐き気など様々な症状が現れます。また不安やイライラなど精神的辛さもあります。元気な時のように少しでも自分らしさを取り戻していただくようサポートしていきます。

外来受診を希望される方は、かかりつけの主治医の先生にご相談ください。病院間で連絡を取り合って外来予約日を決定します。

診療日

月曜日午後・水曜日午後（完全予約制）
外来受診に関するご相談は
地域医療連携室にて承ります

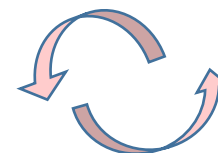
地域医療連携室

TEL：0263-28-3010
FAX：0263-28-3011

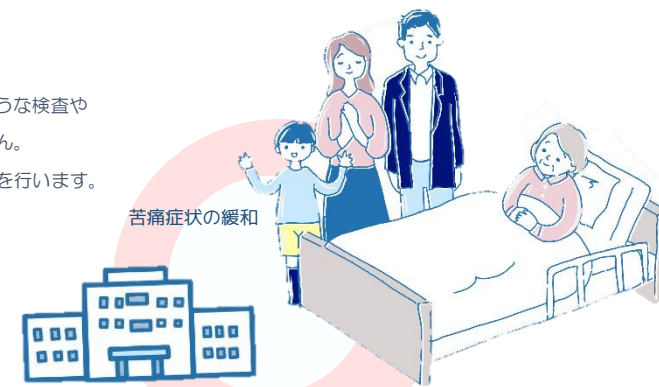
受付時間 9：00～17：00 土・日・祝日を除く

入院 【緩和ケア病棟】

緩和ケア病棟やまなみでは、がんに対する積極的な治療（抗がん剤治療や手術、放射線療法など）身体の負担になるような検査や処置、延命のための装置や蘇生術などは基本的には行いません。
吐き気や痛みなどの辛さ、症状を和らげるように治療・ケアを行います。



症状がおちついたら
在宅療養も支援します



苦痛症状の緩和

想いをカタチに

患者さんの苦痛の感じ方や、「何をしたい」「何をしてもらいたい」という思いは人それぞれ異なります。
私たちは一人ひとり患者さんの声を丁寧に聴き、患者さんやご家族の気持ちに寄り沿ったケアを大切にしています。
患者さんやご家族の思いがカタチになるよう、そして質の高い緩和ケアが受けられるよう、担当医、精神科医師、看護師、リハビリスタッフ、管理栄養士、ソーシャルワーカー、薬剤師など院内の各専門家を集めてカンファレンスを実施し、情報を共有しています。
病院でも自宅でも、どこにいても患者さんにとって最適な療養となるようにあらゆることを想定して総合的に考えていきます。

どこでも質の高い

緩和ケアが受けられる

連携のとれた地域に

緩和ケア病棟と在宅療養支援

緩和ケアでは、可能な限り患者さんの住み慣れた場所、過ごしたい場所で療養できるように調整いたします。
例えば、ご自宅に帰りたというご希望があれば、様々な問題（苦痛・介護・生活など）を調整して在宅生活に戻れるように準備をします。

在宅診療医師 訪問看護師 ケアマネージャー



自宅



入院

退院

訪問
調整

連絡

地域の在宅診療
訪問看護



情報

情報・報告

再入院が必要となったら、医療者間で連携をとって再入院などの対応をしています

緩和ケア病棟

医師

得られる情報から苦痛の原因を評価し、患者さんと相談しながら苦痛を緩和します。



看護師

患者さんやご家族の思い・苦痛をいち早く察知し、適切なケアの提供をします。



患者さんやご家族の思いがカタチになるよう、専門家チームでお手伝いさせていただきます



ソーシャルワーカー

患者さんやご家族の様々な悩みを社会保障制度の提案、関係調整を行いながら解決できるようお手伝いをします



薬剤師

痛みなどをコントロールするためのお薬について提案やご説明をします。副作用など気になることがあればご相談ください



リハビリスタッフ

患者さんやご家族を尊重し、体の機能を維持して生活の質を高められるように支援します



管理栄養士

食事内容や食べやすいように形態を変えたりする等、美味しく楽しんでいただけるようサポートします



設備のご紹介



雄大な北アルプスを望む病室

緩和ケア病棟は全10室すべて個室です。

お部屋からは雄大な北アルプスの稜線を望むことができます。眺望を楽しみつつも、ご自宅にいるような雰囲気で寛げるよう、ミニキッチンやご家族が宿泊可能なソファベッドをご用意しております。寝たまま入浴できる介助浴槽もあります。

ペット同伴面会もできます

大事なご家族の一員であるペットとの面会も可能です。
ペット同伴をされる場合はスタッフまでお声がけください。



ラウンジ



一般浴室



ミニキッチン

全10室 すべて個室です

乗鞍・常念・有明・白馬

病室は松本平から見える北アルプスの名前を使用しています。

全室個室ですが差額ベッド料はいただきません。

「緩和ケア病棟入院料」は定額制であり、健康保険が適応されます。

医療費が一定額を超えた場合は、高額療養費限度額制度を利用できます。



季節のメニュー



季節に合わせてお茶会を開催しています。

クリスマスにはケーキや、端午の節句には鯉のぼりを模ったゼリー、七夕は天の川羊羹など季節を取り入れたお菓子を提供しています。

セレクトメニュー(やまなみ食)

ご希望の日の、主食の代わりにラーメン、うどん、そば、おじや、パンなどが選べます。主菜はカレー、貝柱のシチュー、煮込みハンバーグ、肉じゃがなどが選べます。



お稲荷さんはやまなみ食の人気メニューです。

緩和ケア病棟の入院対象となる方

- 悪性腫瘍の方で、抗がん剤治療や手術などを行わないことを理解されている方
- がんに伴う身体的・精神的・社会的苦痛があり、ご本人やご家族が症状の緩和のために入院を望まれている方
- 介護されているご家族の方に、休息をお取りいただくことを目的とした一時的な入院（レスパイト入院）



お申し込みの流れ



よくあるご質問

Q.緩和ケア病棟に入院したいのですが、すぐに入院できますか？

- A.当院の緩和ケア病棟では面談後、ご病状に合わせて入院の時期を決定させていただきます。
まずはかかりつけ医の先生とよくご相談ください。

Q.面会はいつでもできますか？

- A.面会は24時間可能です。ただし、新型コロナウイルス感染症予防対策のため面会制限をさせていただいております。

Q.緩和ケア病棟では治療をしないのですか？

- A.手術や放射線治療、抗がん剤治療などの治療は基本的に行いません。
身体的苦痛、精神的苦痛・社会的苦痛・心の辛さに対する治療・ケアなどを行います。

Q.家族は入院を希望しています。本人には伝えていませんが入院可能ですか？

- A.患者さんご本人が病気や病状についてご理解され、緩和ケア病棟の入院を希望されている方が対象となります。まずは患者さんご家族とご相談ください。ただし認知機能低下などから患者さんの判断が難しい場合は、ご家族とかかりつけ医とご相談ください。